メータ、センターディスプレイなどの

HMI関連機器を集約し多様な表現を実現する

- エントリクラス車両を中心に、DA (Display Audio) の搭載が進んでいます メータにDA機能を取り込むことで省スペース、ローコストを実現します
- メータに集約(省スペース)
- メータにDA (Display Audio)機能を統合
- スマホアプリの活用(低コスト)



背

車両要件に応じて搭載機能や意匠を カスタマイズできるスピードメータ

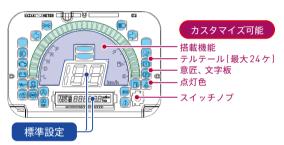
- 低価格要求、ADAS機能表示とサイバーセキュリティへの対応
- 車両要件に応じてメータ タイプを選択可能
- ゲージ類などの搭載機能や各テルテールが設定可能

量産品 LED デジタルメータ



ベース仕様

スピードメータ、燃料残量計、 オド/トリップ、シフト表示、 各テルテール、ブザー



スピードメータ(3桁) オド/トリップ(6桁)

デザイン例







- 安価で視認性の良い LED デジタル表示のスピードメータ
- 小規模な設計、ソフト変更で様々なバリエーションを実現

開発品 TFT ディスプレイメータ



ベース仕様

TFT表示 (スピードメータ、タコ、テンプ、フューエル等)、 各テルテール



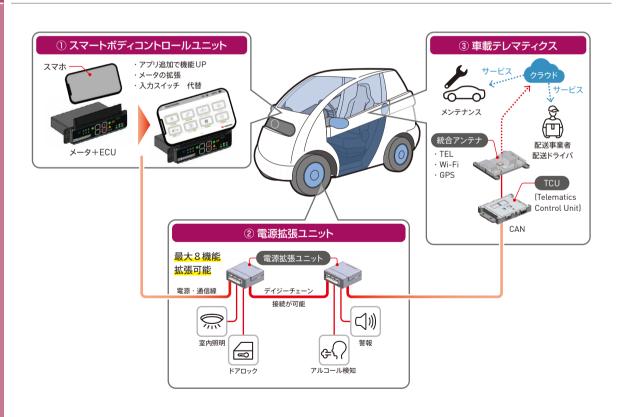
ベース仕様

TFT表示 (スピードメータ、フューエル、各テルテール等)

• グラフィカルな ADAS 機能の表示、サイバーセキュリティに対応可能

徴

- ・スマートなボディコントロールと機能拡張
- ・電源の機能拡張
- ・車載テレマティクスによるサービス拡張
- 新しいモビリティを作ろうとしているメーカはシンプル 且つ、 ユーザ視点で柔軟に拡張できる標準的な電装プラットフォームを求めている
- ●・スマホアプリ追加により、ボディ系機能が拡張できる・スマホ画面を活用し、表示類/入力スイッチが拡張できる
- ② 機能追加時の電源供給が簡単にできる
- ❸ 個人/サービス事業者へ通信ソリューションを提供できる



乗員に負担をかけずに認識できる

HMI機能

- 先進安全技術や自動運転など新しいシステムがクルマに搭載されつつある中、 それらに適した HMI が求められている
- 3D表示で感覚的にわかる
- スロープAR-HUD表示で直感的にわかる
- 手動/自動運転状態が雰囲気でわかる

3D表示で感覚的にわかる

周辺状況を立体的に見せることで 安全性と利便性の向上 ※距離感が感覚的にわかる



手動/自動運転状態の表示

矢崎の照明技術で表示器やハンドルに ライン照明を施し、クルマの状態を伝える



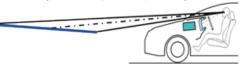
スロープAR-HUD表示で直感的にわかる

道路に平行表示することで更なる視認性の向上

(通常ヘッドアップディスプレイ)



(スロープヘッドアップディスプレイ)





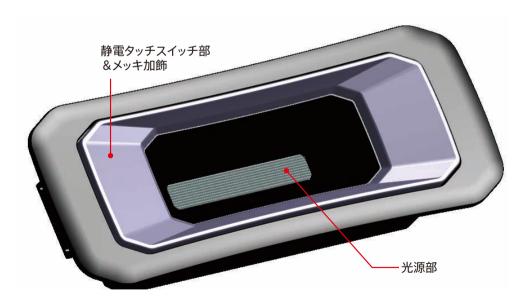
車室内の様々な場所に

自由に配置可能な照明

- 最適な場所に、最適な場所から光を照射する為には、 スイッチの操作性がよく、小型のスポットランプが必要
- 静電タッチスイッチを兼ねたメッキ加飾
- 小型でありながら十分な明るさを確保

明るさ:光源からの距離600mmで中央50Lx以上

サイズ:125mm×48mm×30mm



※意匠デザインはニーズに合わせて変更する為、モックイメージとなります※

ヘッドアップディスプレイから出る光を

偏光サングラスでも見える光に変える

- ヘッドアップディスプレイは偏光サングラス装着時に、 表示が見えにくくなる問題がある
- 裸眼時と偏光サングラス装着時の2つの表示モードを持つ
- 偏光サングラスを装着しても表示がはっきり見える

